

取扱説明書

IRINO

301594

FBH-603BG

自動シャッター一部 TG-3600

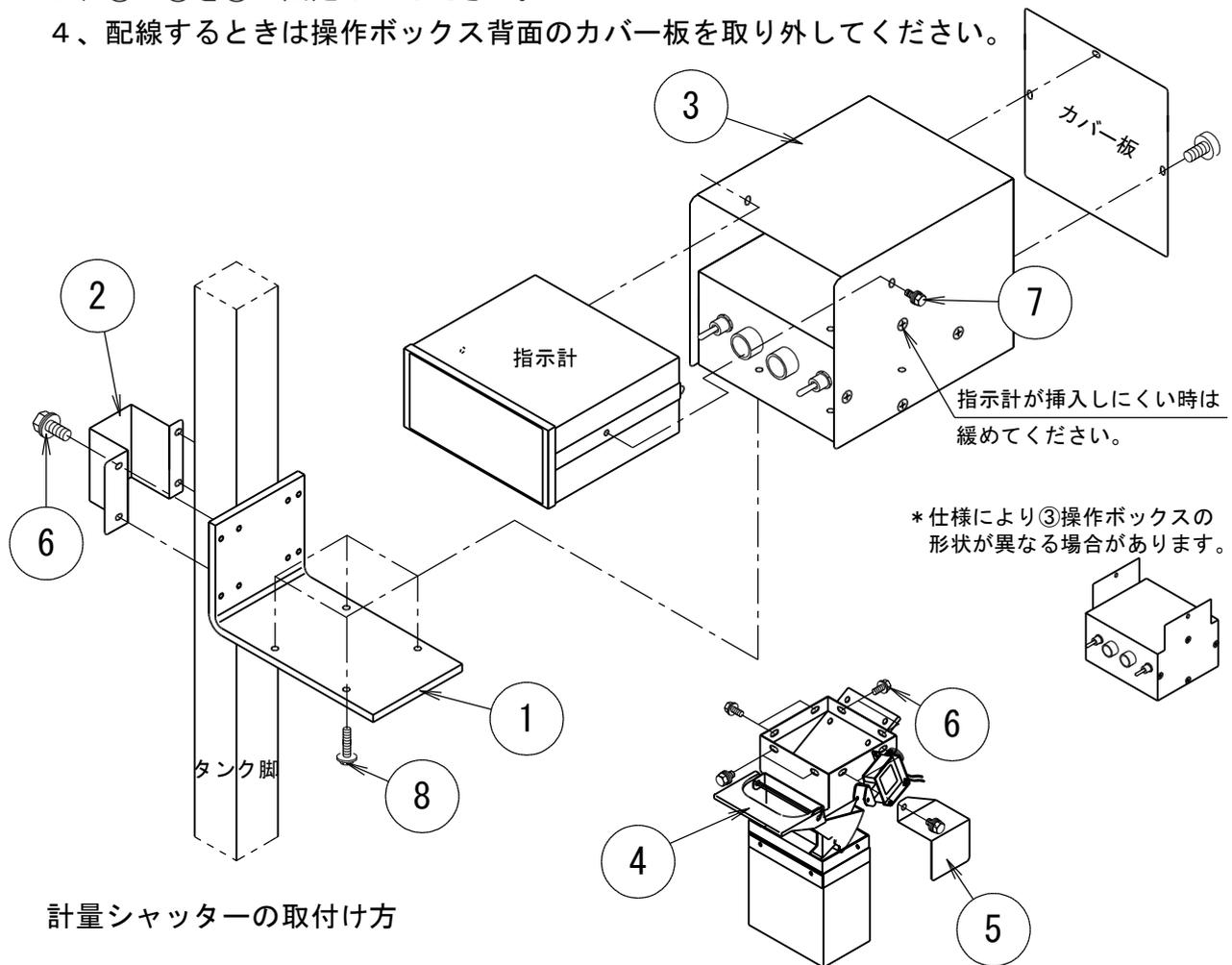


操作ボックス取付方法（自動シャッター）

TG-3600

操作ボックスの取付け方

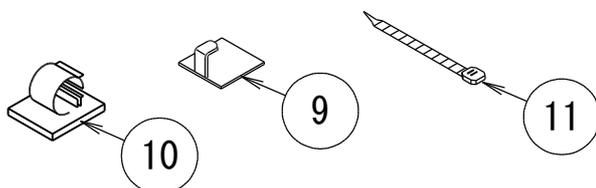
- ①と②を⑥でタンク脚に取り付けてください。
- 指示計を③の空スペースに挿入して⑦を使用して固定してください。
* 指示計が挿入しにくい場合は③の横面に付いているトラスネジをドライバーで緩めて挿入してください。
- ①と③を⑧で固定してください。
- 配線するときは操作ボックス背面のカバー板を取り外してください。



計量シャッターの取付け方

- ⑥を使用してタンクジョーゴ出口部分に④を取り付けてください。
* ⑤は④横面のソレノイドカバーに使用してください。

* 必要に応じて⑨⑩⑪を使用してください。



①	操作ボックス固定板	1
②	脚固定板	1
③	操作ボックス	1
④	計量シャッター	1
⑤	ソレノイドカバー	1
⑥	M6×16P3ボルト	12
⑦	M6×12P3ボルト	2
⑧	M6×20P3ボルト	4
⑨	ハイステッカー	5
⑩	NKクランプ	5
⑪	インシュロック	10

* ②脚固定板はタンク脚サイズによって異なります

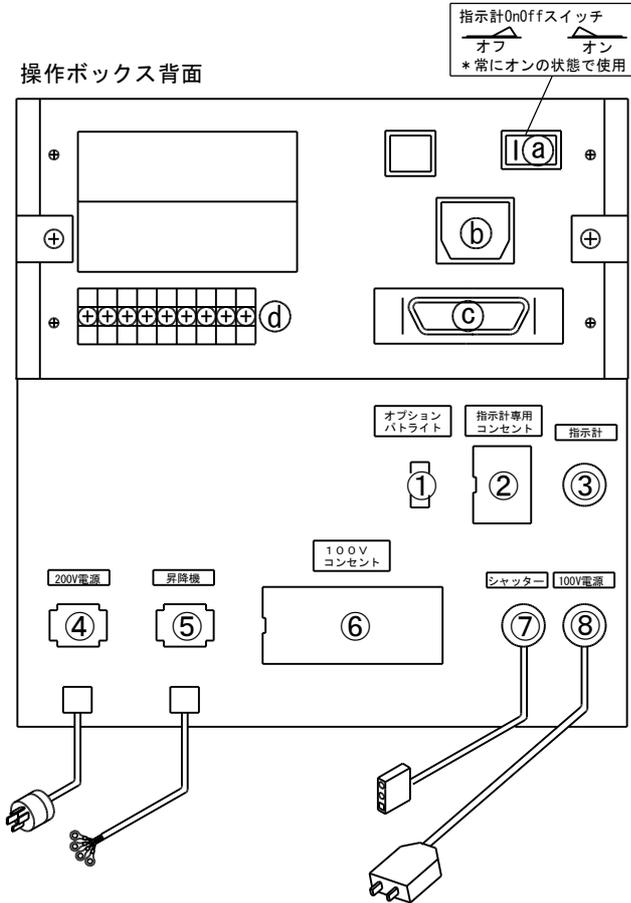
操作ボックス配線方法(自動シャッター)

TG-3600

配線方法と各部の名称

1、操作ボックス背面のカバー板を取り外して配線を行ってください。

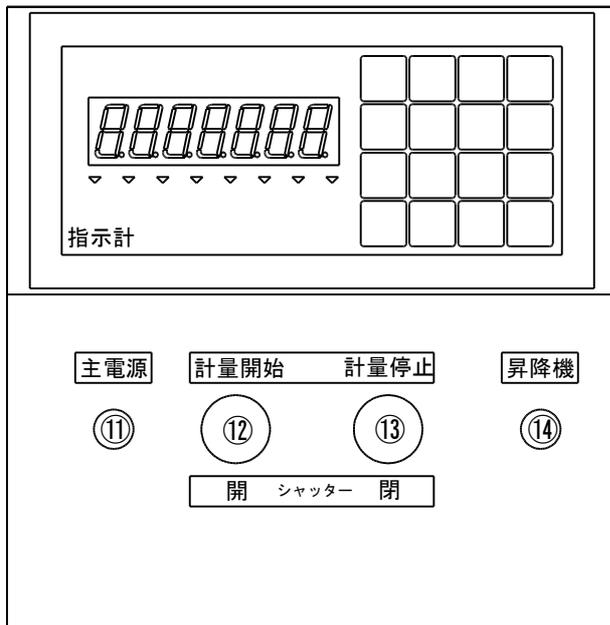
操作ボックス背面



①	指示計OnOffスイッチ 常にONの状態にしてください
②	電源ソケット 電源ケーブルを接続してください
③	外部コネクタ ③のコネクタを接続してください
④	ロードセル端子台 台秤の配線(ロードセル線)を接続してください

①	オプションパトライトコネクタ パトライトのコネクタを接続してください
②	指示計専用コンセント 指示計の電源ケーブルを接続してください
③	指示計コード 指示計の外部コネクタ ③ に接続してください
④	200V電源コネクタ オプションの200V電源ケーブルを接続してください
⑤	昇降機コネクタ オプションの昇降機コードを接続してください
⑥	100Vコンセント サンプラーや30Kg秤の100V電源として利用してください
⑦	シャッターコード 計量シャッターへ接続してください
⑧	100V電源コード 100V電源を供給してください

操作ボックス前面



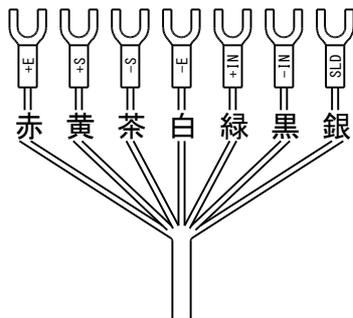
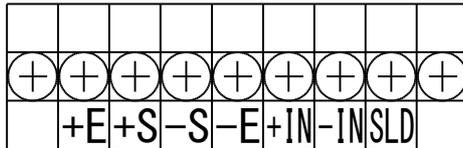
⑪	主電源OnOffスイッチ 操作ボックス、指示計のオン/オフを行います
⑫	緑ボタン 計量シャッターが開き、計量を開始します 定量後の継ぎ足し投入は3秒間長押しでシャッターが開きます
⑬	赤ボタン 計量シャッターが閉じ、計量を停止します
⑭	昇降機OnOffスイッチ 昇降機のオン/オフを行います

指示計と台秤の接続方法

1、台秤からの配線（ロードセル線）を指示計背面に接続してください。

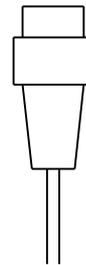
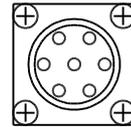
TG-3000

端子台接続になっています。
配線順序に注意してください。



TE-3200 TG-3600

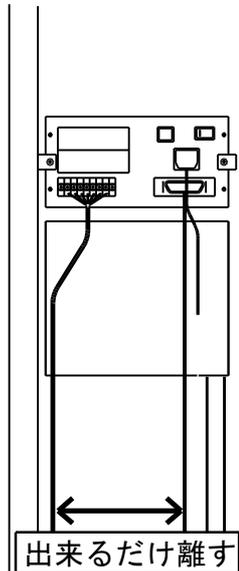
コネクター接続になっています
差込み向きに注意してください。



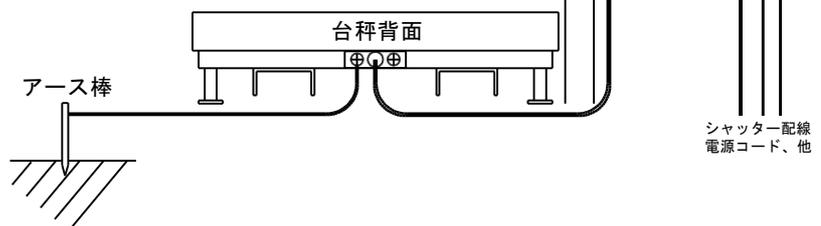
注意

台秤からの配線（ロードセル線）は非常にノイズの影響を受けやすいです。

電源コードやシャッター配線からのノイズの影響を避ける為に 他の配線とは出来るだけ離して配線（結束）するようにしてください。



2、アース棒は台秤背面の六角ボルトを使用して接続してください。

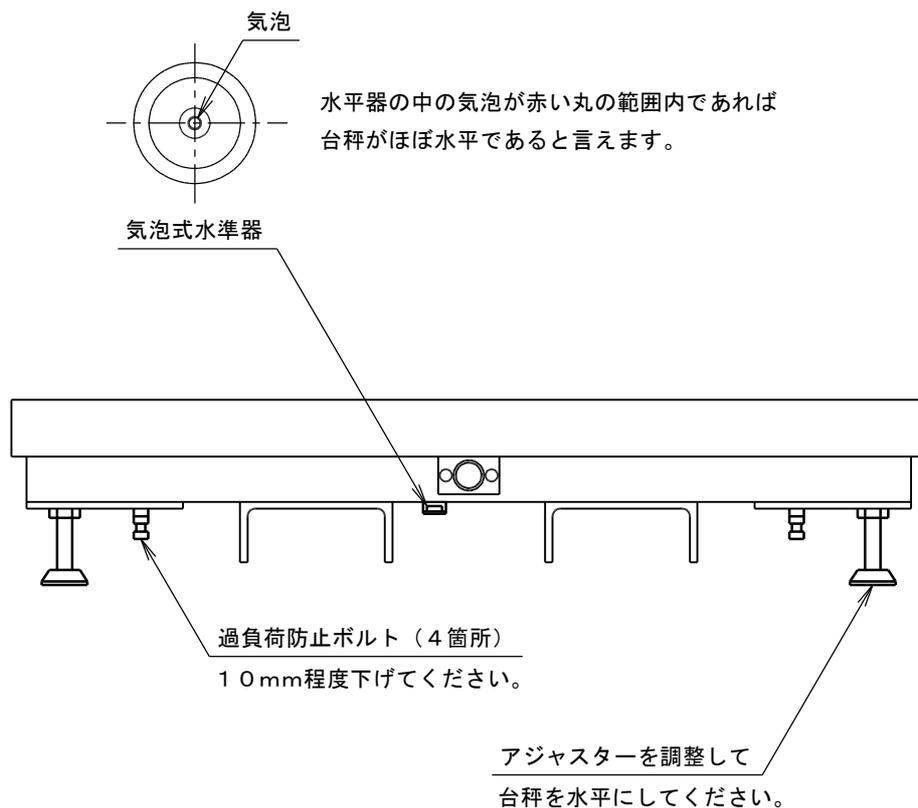


台秤据付方法

輸送時にロードセルに過荷重がかからないように台秤の4隅には過負荷防止ボルトが取り付けられています。
タンク組立、台秤設置、配線作業が完了したら台秤の過負荷防止ボルト（4箇所）を必ず下げてください。

台秤据付手順

- 1、台秤を設置してください。（設置面が平らで、強固な場所に設置してください。）
- 2、4隅に過負荷防止ボルトが取り付けられています。ナットを緩めて過負荷防止ボルトを約10mm下げてください。 * 4隅確実に実施してください。
- 3、外付けの気泡式水準器を見ながら4隅のアジャスターを調整して台秤を水平にしてください。



指示計の設定方法（定量、定量前1）

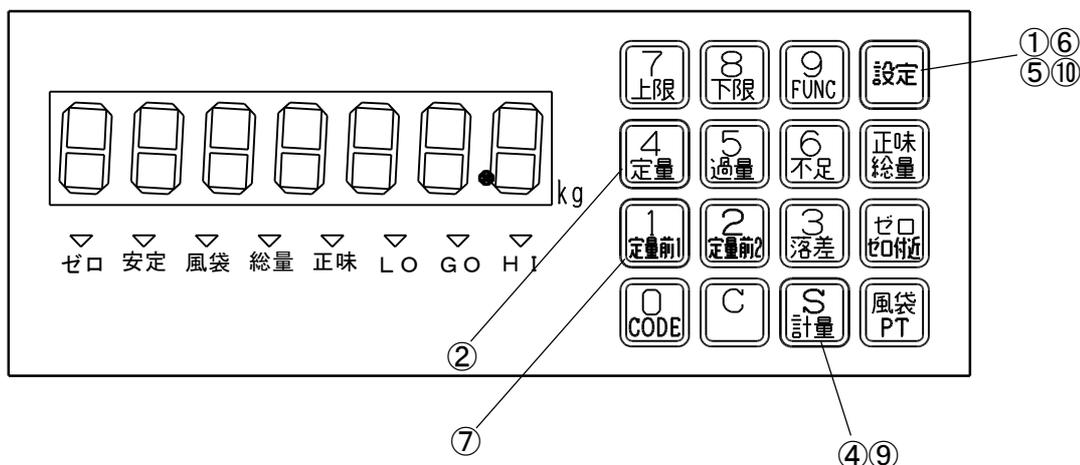
TG-3600

定量と定量前1を設定してください。それ以外の設定項目を変更しないでください。誤作動の原因になります。設定した内容は電源をOFFにしても保存されています。

定量・・・出荷重量を設定してください。

定量前1・・・大投入から小投入に切り替わる重量です。定量に対して何kg手前で切り替えるかの設定です。
（通常は5kgに設定されています。変更する必要はありません。）

TG-3600指示計



「定量」設定方法（例 1030.0kgの場合）

- | | | |
|---|--|------------|
| ① | 設定 キーを押してください。 | - 5 E E - |
| ② | 4 定量 キーを押してください。 | F _ |
| ③ | 1 定量前1 0 CODE 3 落差 0 CODE 0 CODE キーを順番に押してください。 | F _ 1030.0 |
| ④ | S 計量 キーを押してください。 | - 5 E E - |
| ⑤ | 設定 キーを押してください。設定終了です。 | |

「定量前1」設定方法（通常は5kgに設定しています。変更する必要はありません。）

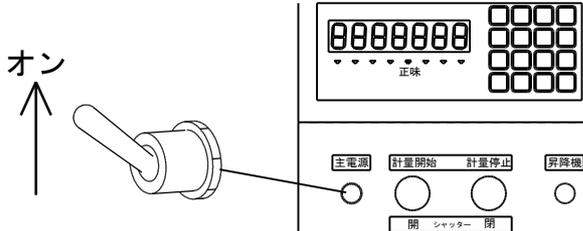
- | | | |
|---|--|------------|
| ⑥ | 設定 キーを押してください。 | - 5 E E - |
| ⑦ | 1 定量前1 キーを押してください。 | b _ |
| ⑧ | 5 過量 0 CODE キーを順番に押してください。 | b _ 0005.0 |
| ⑨ | S 計量 キーを押してください。 | - 5 E E - |
| ⑩ | 設定 キーを押してください。設定終了です。 | |

*途中で入力を間違えた場合は **C** キーを数回押して通常の画面に戻してから再度入力してください。

計量方法 (下記図はタンク仕様の場合です)

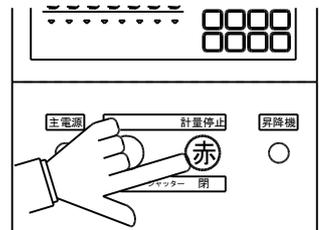
TG-3600

- 1) 操作ボックスの主電源をオンにしてください。
→指示計の電源が入ります。正味ランプが点灯しているのを確認してください。



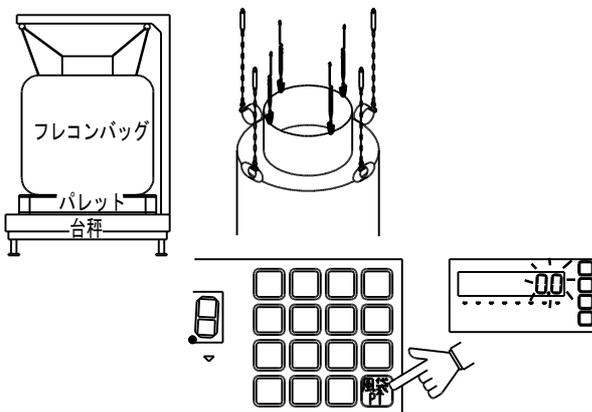
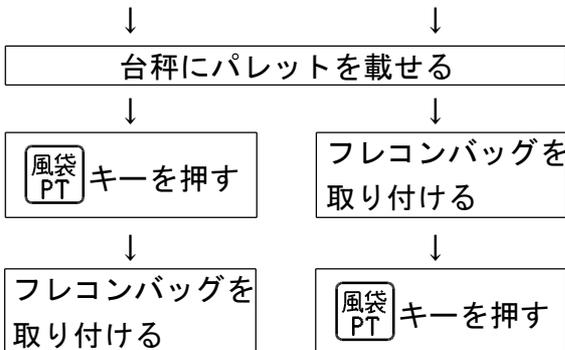
*昇降機を接続しているときは右側のスイッチをオンにすると昇降機が作動します。

- 4) 計量を途中で一時停止させたい場合は赤ボタンを押してください。
→シャッターが閉じ、計量が停止します。計量を再開するときは 3) を実施してください。



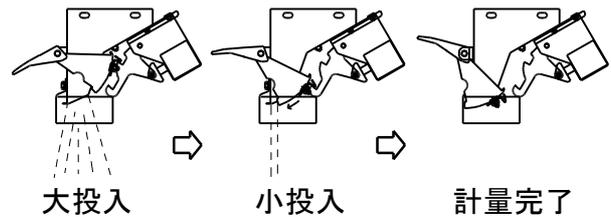
- 2) 下記の作業順序に注意してください。

風袋重量を含む場合 風袋重量を含まない場合

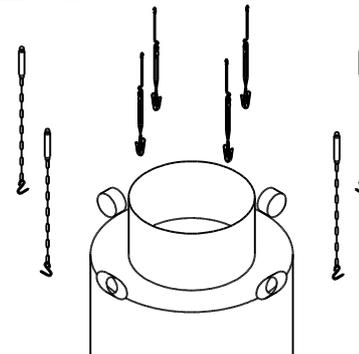


- 5) 定量の数キロ前でシャッターが大投入から小投入に切り替わります。

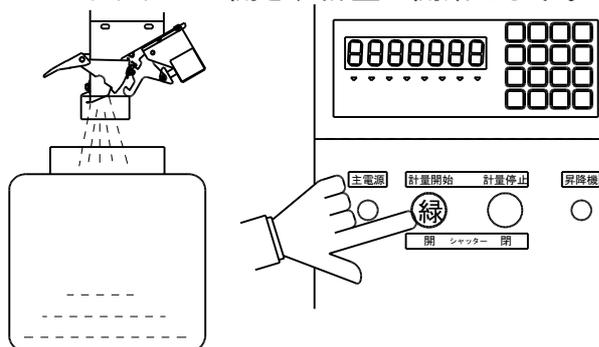
- 6) 定量になったら自動でシャッターが閉じ計量が完了します。



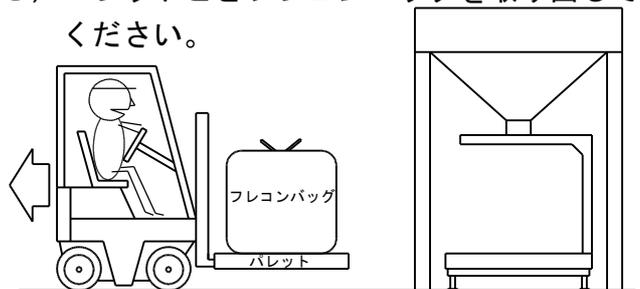
- 7) フレコンバッグホルダーからフレコンバッグの吊り下げ金具を全て取り外してください。



- 3) 操作ボックスの緑ボタンを押してください。
→シャッターが開き、計量が開始します。



- 8) パレットごとフレコンバッグを取り出してください。



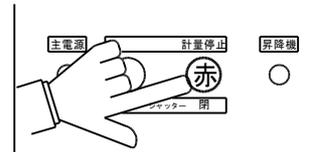
- 9) 再度計量を行う場合は 2) から作業を繰り返してください。

作業上の注意点

定量付近で台秤上に乗リフレコン内の米を整える場合、以下の点に気を付けて作業を行ってください。

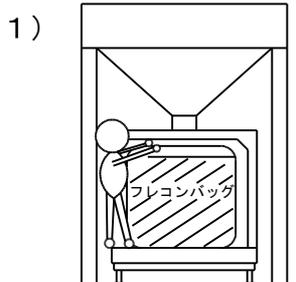
1) 定量付近で台秤上に乗る場合は

→必ず計量を停止して台秤上に乗るようにしてください。
計量を停止しないで人が台秤に乗ると、人の体重で定量に達してしまい誤作動を引き起こすことがあります。

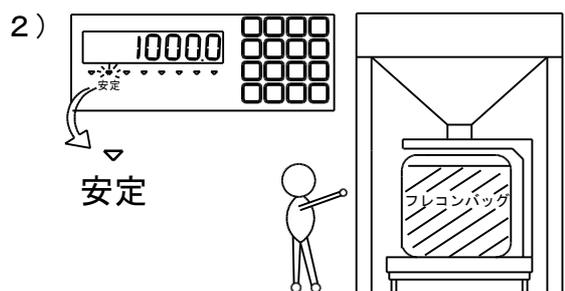


2) 定量付近で計量を再開する場合は

→必ず台秤上から人が降りて、重量値が安定してから計量を再開してください。
人が乗った状態で計量を再開したり、重量が安定していない状態で計量を再開すると、定量値でシャッターが閉まらないことがあります。



→必ず計量を停止して台秤上に乗る



→必ず台秤上から降りる
→重量が安定してから計量を再開する

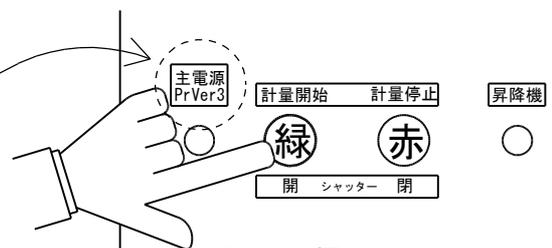
* 計量開始ボタンを押してもシャッターが開かない時・・・

→安全ロック機能が働いています。数秒待ってから計量開始ボタンを押してください。計量シャッターが開き計量が再開されます。

定量後に継ぎ足し投入する場合 (PrVer3のみ)。

定量後に継ぎ足し投入する場合は計量開始ボタンを通常押ししてもシャッターが開きません。

→計量開始ボタンを3秒間長押しすると計量シャッターが開きます。



* 主電源の下にPrVer3と表示しているものが対象です。